羽田空港新飛行経路周辺等
航空機騒音測定調査・分析業務委託

報告書
(概要版)

令和７年１２月

日本音響エンジニアリング株式会社

令和７年度航空機騒音測定結果概要

１.調査地点

地点名	住所
青南いきいきプラザ	東京都港区南青山４丁目１０－１
高陵中学校	東京都港区西麻布４丁目１４－８
本村小学校	東京都港区南麻布３丁目９－３３
白金小学校	東京都港区白金台１丁目４－２６

２.測定期間

令和７年７月１日～９月３０日（９２日間）
南風運用実施日（６８日間）※着色されている日

令和７年７月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

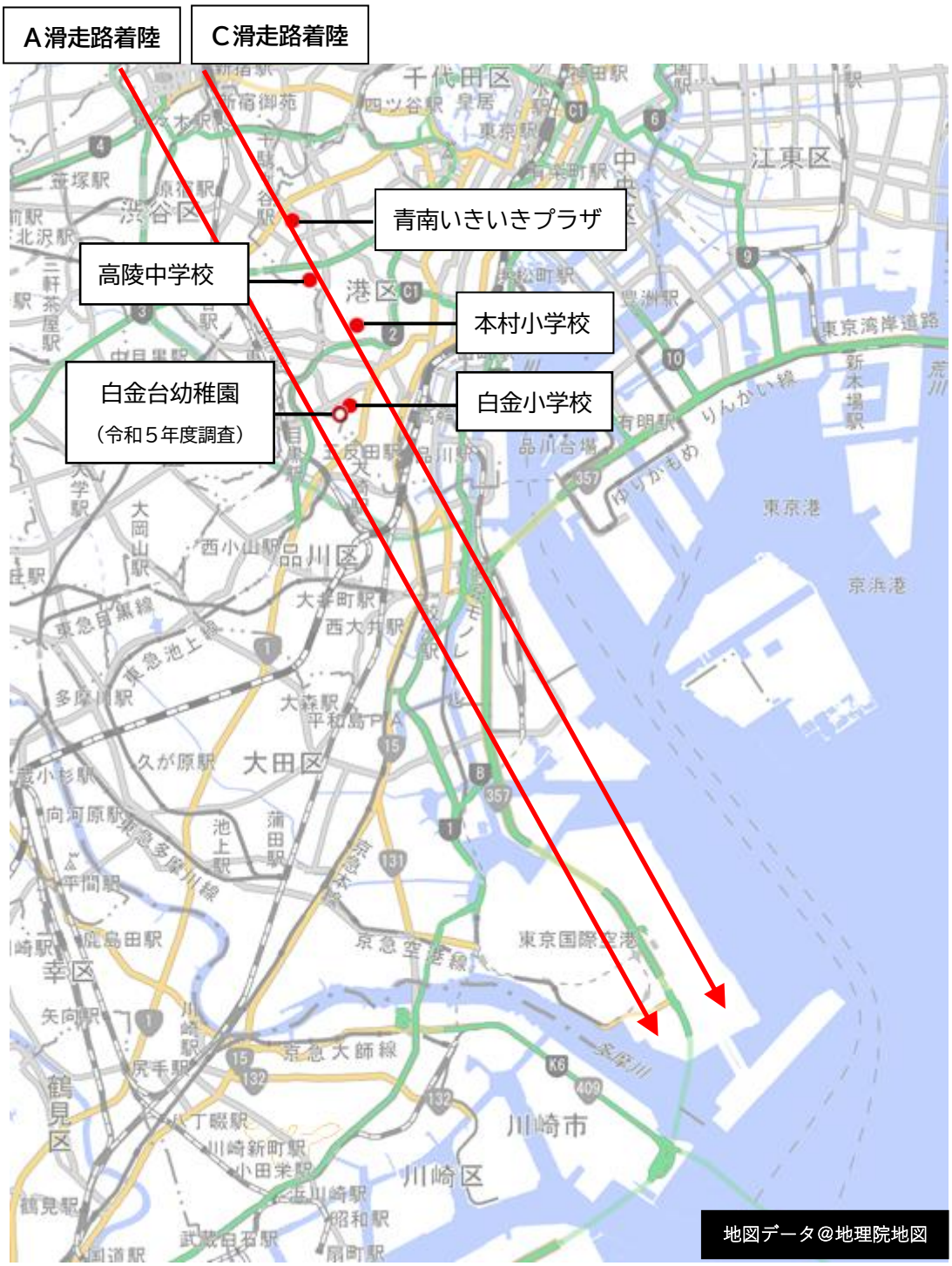
令和７年８月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

令和７年９月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

３.羽田空港Ａ、Ｃ滑走路着陸経路と調査地点の位置関係



４.地点別測定結果

南風運用時の羽田空港着陸機を対象とした地点毎の測定結果を表４－１に示す。

表 4-1　測定結果

調査地点	実測値［dB］						騒音発生回数［回］			高度		L_{den} [dB]
	全体		C滑走路着陸機		A滑走路着陸機		全体	C滑走路着陸機	A滑走路着陸機	[ft]	[m]	
	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値						
青南いきいきプラザ	78.3	68.9	78.3	68.9	70.4	61.6	5,800	5,640	150	2,506	764	48.3
高陵中学校	81.5	70.4	81.5	70.4	70.5	61.3	5,847	5,670	167	2,227	679	49.5
本村小学校	80.4	71.1	80.4	71.1	70.6	60.3	5,670	5,578	82	2,174	663	49.9
白金小学校	82.7	68.9	82.7	69.0	77.5	64.5	6,011	5,562	440	1,951	595	48.3

※L_{den}とは、昼間、夕方、夜間の時間帯別に重みを付けて求めた 1 日の等価騒音レベルのことである。

※新飛行経路南風運用時に港区上空を通過した航空機のみを集計対象とする。

※騒音発生回数は暗騒音から 10 dB以上大きいもののみを集計した回数である。(環境省の「航空機騒音測定・評価マニュアル」に基づく)

※高度は航空機が出している電波を解析して 1 機ごとの高度を出したものに気圧補正をかけた気圧高度であり、算術平均した値である。

※「全体」には港区上空を飛行後に着陸復航し A および C 以外の滑走路に着陸した航空機も含まれるため、騒音の発生回数の合計は必ずしも一致しない。

※国が定める住宅防音工事（助成)、空調機器の設置・更新（助成）等の対象となる L_{den} は 62dB 以上である。

【最大値】

本測定における実測値の最大値は、白金小学校の 82.7dB であった。騒音発生源は小型機である A320neo であり、着陸通過時に稀に発生する笛吹きのような音により、通常の飛行音よりも高い騒音レベルで観測された。

【平均値】

全体の実測値の平均値は、本村小学校が最も高く 71.1dB であり、最も低かった地点は、青南いきいきプラザおよび白金小学校の 68.9dB であった。高陵中学校は 4 地点の中で最も北に位置しており、高度が最も高い着陸機の騒音を測定することになる。また白金小学校は A 滑走路および C 滑走路への着陸機の飛行経路から離れているため、他の３地点に比べて平均値は低い値になったものと思われる。

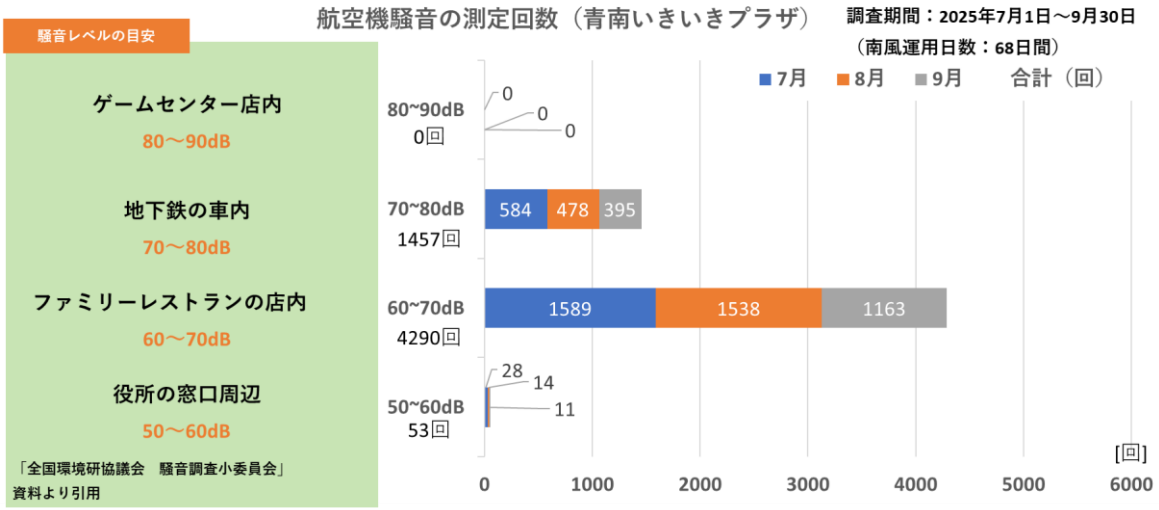
【騒音発生回数】

騒音発生回数を比較すると、白金小学校が 6,011 回で最も多い結果となった。白金小学校を除く 3 地点は C 滑走路への着陸飛行経路直下に位置しているのに対し、白金小学校は A 滑走路および C 滑走路への着陸飛行経路の中間地点に位置している。そのため、A 滑走路の測定回数が他地点よりも多くなり、全体の測定回数も多くなったものと思われる。

５.航空機騒音の騒音発生回数

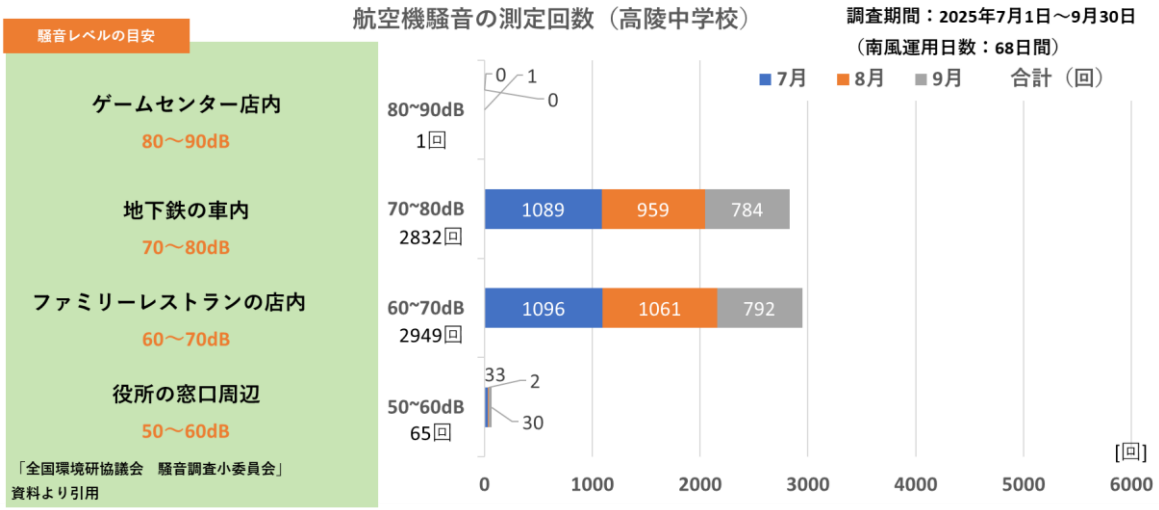
南風運用時（６８日間）の羽田空港着陸機を対象とした、調査地点毎の騒音発生回数を 10 dB毎に集計した結果を表５－１～４に示す。

表 5-1



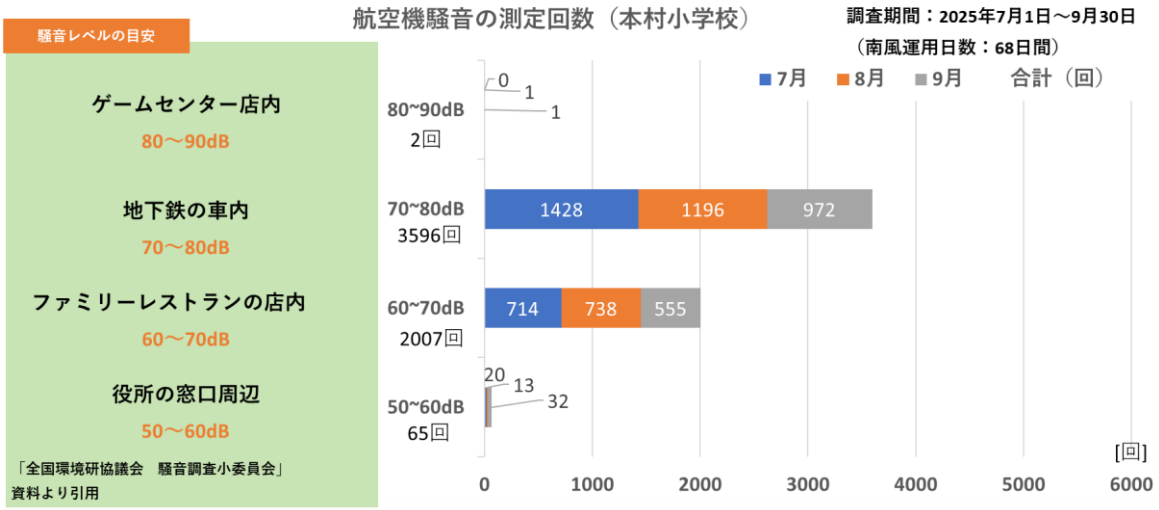
	50dB以上 60dB未満	60dB以上 70dB未満	70dB以上 80dB未満	80dB以上 90dB未満	90dB以上	合計 （回）
1 日平均	1	63	21	0	0	85
合計（回）	53	4,290	1,457	0	0	5,800

表 5-2



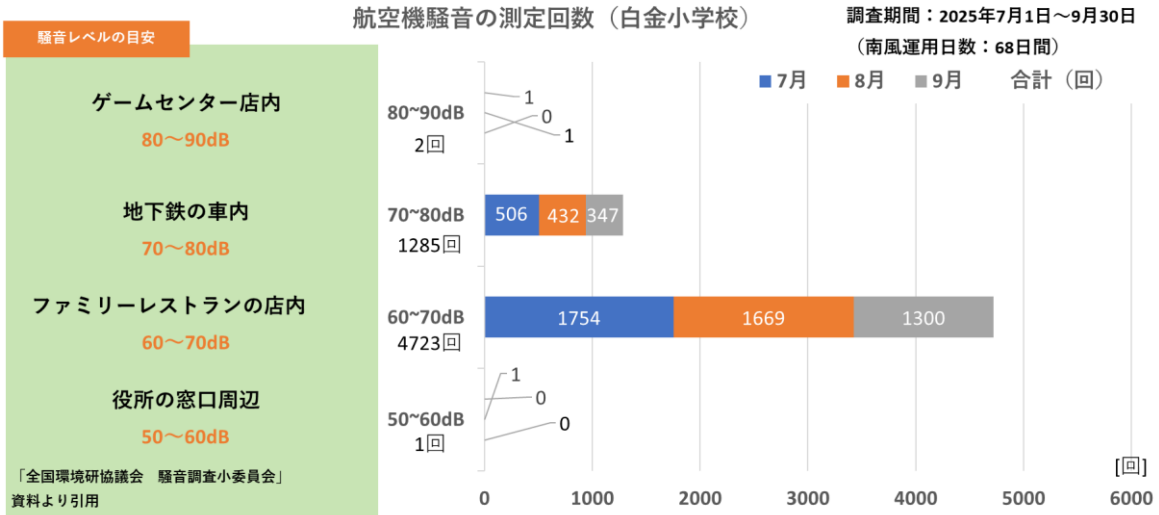
	50dB以上 60dB未満	60dB以上 70dB未満	70dB以上 80dB未満	80dB以上 90dB未満	90dB以上	合計 （回）
1 日平均	1	43	42	0	0	86
合計（回）	65	2,949	2,832	1	0	5,847

表 5-3



	50dB以上 60dB未満	60dB以上 70dB未満	70dB以上 80dB未満	80dB以上 90dB未満	90dB以上	合計 （回）
1日平均	1	30	53	0	0	83
合計（回）	65	2,007	3,596	2	0	5,670

表 5-4



	50dB以上 60dB未満	60dB以上 70dB未満	70dB以上 80dB未満	80dB以上 90dB未満	90dB以上	合計 （回）
1日平均	0	69	19	0	0	88
合計（回）	1	4,723	1,285	2	0	6,011

６.各測定地点別の騒音発生状況

測定地点ごとの機体サイズ別の騒音発生状況を表６－１～４に示す。

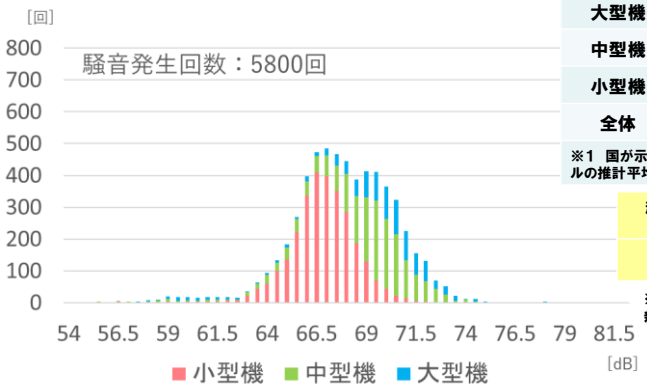
表６－１

【測定結果】青南いきいきプラザ

調査期間：令和7年7月1日～9月30日（92日間）

○飛行経路と測定地点の位置関係等
・C滑走路着陸経路のほぼ直下、羽田空港から13km程度に位置する。高度約2,506ft（約764m）。
・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）の回数は以下のとおり。



	実測値の平均（A滑走路着陸機＋C滑走路着陸機）	経路直下における国が示す推計平均値（高度2,500ft）
大型機	70.3	71 ~ 72
中型機	79.7	66 ~ 68
小型機	67.4	65 ~ 69
全体	68.9	65 ~ 72

※1 国が示す着陸機（高度2,500ft）の経路直下における最大騒音レベルの推計平均値を元に、港区が算出した測定地点における推計平均値

測定期間を通じたLden ※2
48.3

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

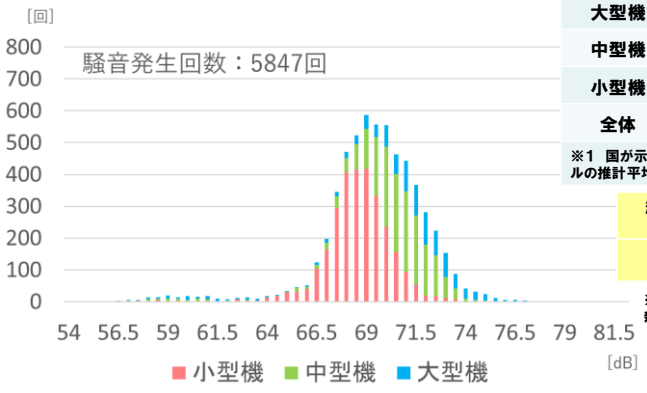
表６－２

【測定結果】高陵中学校

調査期間：令和7年7月1日～9月30日（92日間）

○飛行経路と測定地点の位置関係等
・C滑走路着陸経路のほぼ直下、羽田空港から12km程度に位置する。高度約2,227ft（約679m）。
・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）の回数は以下のとおり。



	実測値の平均（A滑走路着陸機＋C滑走路着陸機）	経路直下における国が示す推計平均値（高度2,500ft）
大型機	71.8	71 ~ 72
中型機	70.9	66 ~ 68
小型機	69.1	65 ~ 69
全体	70.4	65 ~ 72

※1 国が示す着陸機（高度2,500ft）の経路直下における最大騒音レベルの推計平均値を元に、港区が算出した測定地点における推計平均値

測定期間を通じたLden ※2
49.5

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

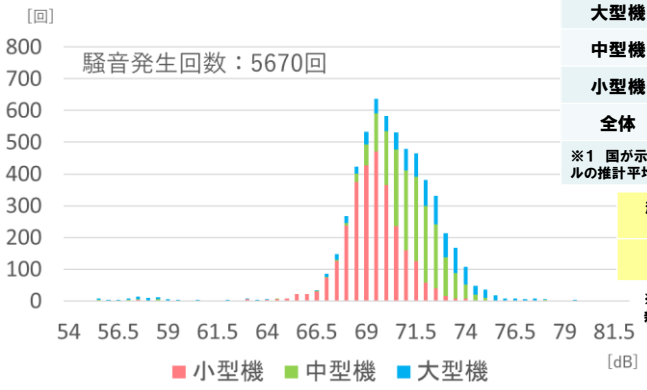
表６－３

【測定結果】本村小学校

調査期間：令和7年7月1日～9月30日（92日間）

○飛行経路と測定地点の位置関係等
・C滑走路着陸経路のほぼ直下、羽田空港から11km程度に位置する。高度約2,174ft（約663m）。
・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）の発生回数は以下のとおり。



	実測値の平均（A滑走路着陸機＋C滑走路着陸機）	経路直下における国が示す推計平均値（高度2,000ft）
大型機	72.4	73 ~ 74
中型機	71.8	69 ~ 71
小型機	69.9	68 ~ 71
全体	71.1	68 ~ 74

※1 国が示す着陸機（高度2,000ft）の経路直下における最大騒音レベルの推計平均値を元に、港区が算出した測定地点における推計平均値

測定期間を通じたLden ※2
49.9

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

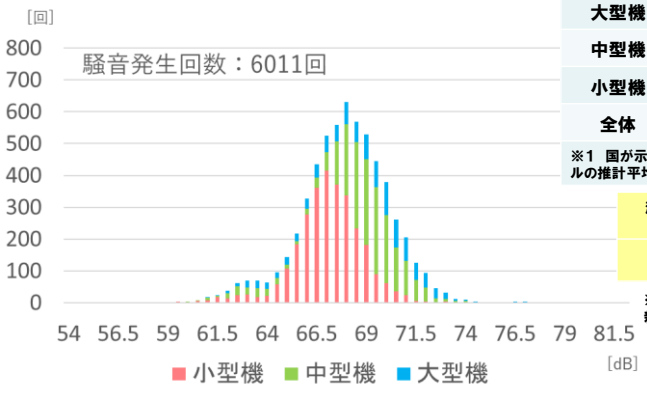
表６－４

【測定結果】白金小学校

調査期間：令和7年7月1日～9月30日（92日間）

○飛行経路と測定地点の位置関係等
・A滑走路とC滑走路の着陸経路の中間であり、羽田空港から9.5km程度に位置する。高度約1,951ft（約595m）。
・着陸経路直下ではないため、飛行経路直下の地点よりも音が小さい。

○実測値の分布
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）の発生回数は以下のとおり。



	実測値の平均（A滑走路着陸機＋C滑走路着陸機）	経路直下における国が示す推計平均値（高度2,000ft）
大型機	69.7	73 ~ 74
中型機	69.4	69 ~ 71
小型機	67.8	68 ~ 71
全体	68.9	68 ~ 74

※1 国が示す着陸機（高度2,000ft）の経路直下における最大騒音レベルの推計平均値を元に、港区が算出した測定地点における推計平均値

測定期間を通じたLden ※2
48.3

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

7.実測平均値と測定地点における推計平均値の比較分析

国土交通省が公表している飛行経路直下における推計平均値を元に、距離減衰のみを考慮して測定地点における推計平均値を算出し、４か所の測定地点の実測平均値との比較分析を行った結果を以下に示す。

(1) 実測平均値と測定地点における推計平均値の比較

表７－１ の国が示す飛行経路直下における推計平均値を元に算出した、実測平均値（表７－２）とＣルート直下からの推計平均値（表７－３）を比較した。実測平均値と推計平均値の差を表７－４に示す。

表７－１　国が示している推計平均値（機体別）

高度[ft(m)]	推計平均値[dB]					
	小型機		中型機		大型機	
	B738	A320	B763	B788	B772	B773
2,500 (760)	65	69	68	66	71	72
2,000 (610)	68	71	71	69	73	74

（国土交通省 web サイト『羽田空港のこれから』より引用）

表７－２　実測平均値（機体別）

調査地点	実測平均値[dB]					
	小型機		中型機		大型機	
	B738	A320	B763	B788	B772	B773
青南いきいきプラザ	67.4	67.1	69.4	70.1	71.3	72.0
高陵中学校	69.2	68.6	71.1	70.9	73.0	74.0
本村小学校	69.9	69.3	72.0	71.8	73.6	74.3
白金小学校	68.0	67.5	69.6	69.6	71.1	71.7

※着陸経路が近いＣ滑走路着陸機のみを集計対象とした。

表７－３　区が算出した測定地点における推計平均値（機体別）

調査地点	測定地点における推計平均値[dB]					
	小型機		中型機		大型機	
	B738	A320	B763	B788	B772	B773
青南いきいきプラザ	64.6	68.6	67.6	65.6	70.6	71.6
高陵中学校	64.8	68.8	67.8	65.8	70.8	71.8
本村小学校	67.6	70.6	70.6	68.6	72.6	73.6
白金小学校	63.7	66.7	66.7	64.7	68.7	69.7

※推計平均値を算出するにあたり、青南いきいきプラザおよび高陵中学校は 2,500ft、本村小学校および白金小学校は 2,000ft の値を採用した。

表７－４　実測平均値と区が算出した測定地点における推計平均値との差（機体別）

調査地点	実測平均値 - 推計平均値[dB]					
	小型機		中型機		大型機	
	B738	A320	B763	B788	B772	B773
青南いきいきプラザ	2.9	-1.4	1.8	4.5	0.7	0.5
高陵中学校	4.4	-0.3	3.2	5.0	2.2	2.1
本村小学校	2.4	-1.2	1.4	3.2	1.1	0.7
白金小学校	4.3	0.8	2.9	4.9	2.4	2.1

表７－４ において、実測平均値（表７－２）と区が算出した測定地点における推計平均値（表７－３）との差を見ると、機種や測定地点によって実測平均値と推計平均値の差にばらつきが見受けられた。

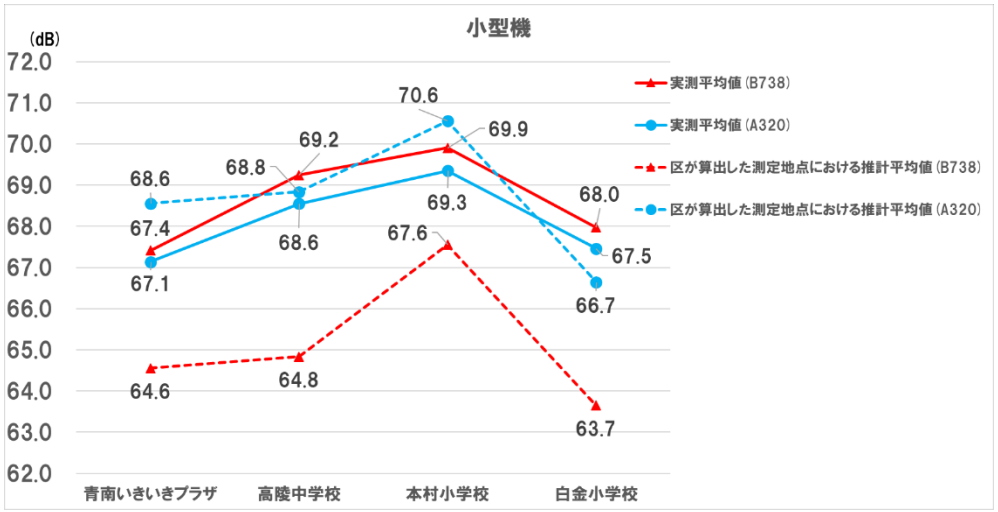
なお、今回測定地点における推計平均値を算出するにあたり、以下の簡略化を行っている点に留意する必要がある。

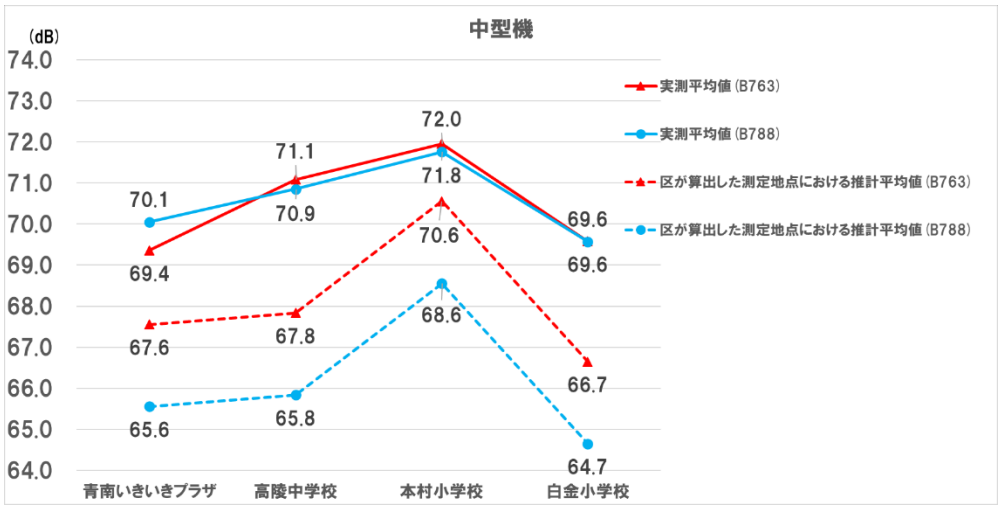
・航空機の飛行高度を 2,500ft（青南いきいきプラザ、高陵中学校）と 2,000ft（本村小学校、白金小学校）で仮定した
・気象条件（風向・湿度等）を考慮していない
・測定地点の高さを考慮していない

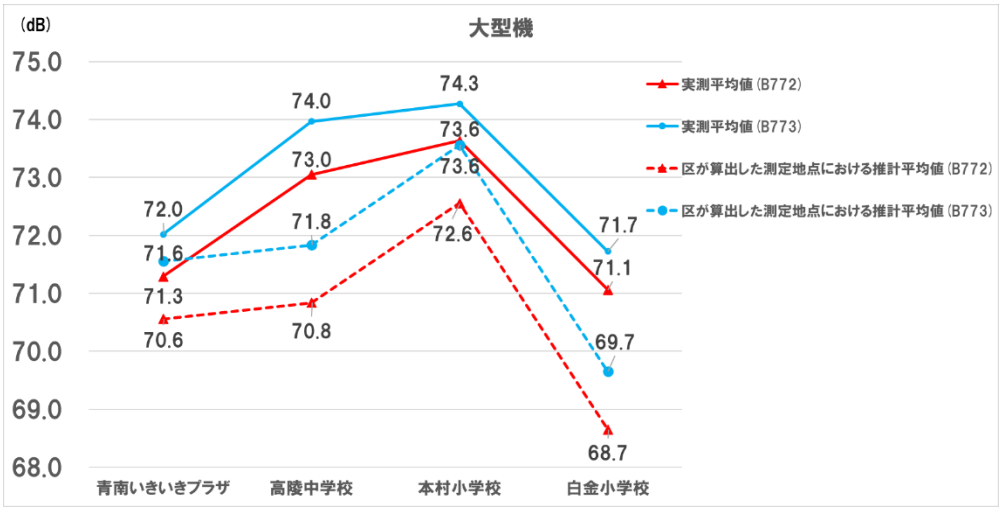
そのため、あくまで参考として実測平均値と区が算出した測定地点における推計平均値の比較を示すものとする。

機体サイズ別（小型機、中型機、大型機）の実測平均値と区が算出した測定地点における推計平均値の比較（機体別）を表７－５に示す。

表７－５　機体サイズ別の実測平均値と区が算出した測定地点における推計平均値の比較（機体別）







８.測定結果の前年度との比較

(1) 最大値（実測値）の比較

令和６年度および令和７年度の最大の実測値の調査結果を表８－１に示す。

表８－１　　（単位：dB）

	令和６年度（92日間）	令和７年度（92日間）
青南いきいきプラザ	79.6	78.3
高陵中学校	80.7	81.5
本村小学校	79.5	80.4
白金小学校	76.0	82.7

※（　）内の日数は測定期間

白金小学校を除く３地点においては前年度と概ね同程度であり、白金小学校は前年度より６dB 以上大きい値になった。いずれの地点においても、最大騒音レベルを記録した音は機体の一部が共鳴するような特異音（いわゆるポー音）であった。

(2)　実測平均値の比較

令和６年度および令和７年度の実測平均値の調査結果を調査地点ごとに表８－２に示す。なお、C滑走路着陸機のみを対象としており、A滑走路着陸機の測定結果は含まれていない。

表８－２　　（単位:dB）

	青南いきいきプラザ			高陵中学校			本村小学校			白金小学校		
	小型機	中型機	大型機	小型機	中型機	大型機	小型機	中型機	大型機	小型機	中型機	大型機
令和６年度	67.7	69.7	71.1	69.2	71.0	72.6	69.9	71.8	72.9	66.1	67.7	68.7
令和７年度	67.4	69.8	70.6	69.2	71.1	72.2	69.9	71.8	72.6	67.9	69.7	70.2

調査結果を比較すると、白金小学校を除く３地点において、令和７年度の値は令和６年度と概ね同程度となった。白金小学校はいずれの機種も前年度より大きく、小型機は 1.8dB、中型機は 2.0dB、大型機は 1.5dB 大きい値となった。